

(1)平成28年10月31日

五分館だより

第93号
第五分館
編集／社会部
印刷／椋プランニング堀越の今日
戸数 80戸
人口 293人
(男138 女155)
平成28年10月現在9月18日(日)
堀越区敬老会を開催

芸能発表を観覧する参加者の皆さん

敬老会を
開催して

総務委員 久保田 和博

九月十八日(日)に堀越区の敬老会が開催されました。区主催は今年で二回目で、七十五歳以上の皆さんが大勢参加し盛大に行われました。

区長、来賓のあいさつに続き寿生会長の乾杯で祝宴が始まりました。

お酒も入りいよいよ楽しみにしていた芸能発表です。最初にわかば会の重層な踊りの披露があり、続いて村内の女性グループ「フラブルメリア」のあでやかなフラダンスの披露がありました。

続いて、駒沢の小椋姉妹による歌の披露がありました。すばらしい歌声で思わず聞き入っていました。最後は小学生グループ「桜松林」による堀越音頭のかわいらしい踊りです。この後、参加者の皆さん



のカラオケもあり大いに盛り

敬老会に参加して

寿生会会長 越野 渡

去る九月十八日堀越区にて区民の七十五歳以上の年寄りを招待下さり、大勢の皆さんが出席されて、盛大に開催され私共感謝致している所であります。村での敬老会もある所ですが、村まではなかなか出て行けないけれど地元と云う事で皆様大勢出席されたのだと思います。これからは人生九十



年代と云われる中、皆様元気に出てこれられと云う事は、地元での開催のおかげだと思えます。

私もサラリーマンを四十二年間やり六十五歳で定年となり、今は農業の専業で励んでいます。いつまでも元気でいられるのは、地域の皆様方と会話をもてる事と堀越のおいしい空気又、新鮮な野菜や果物のおかげだと感謝している所です。

これから区委員の皆様は大変だと思いますが、この敬老会を継続して頂ければ有難いと思います。

り上がりました。最後に参加者を代表して、小椋寛さんの万歳でこの会を終了しました。短い時間ではありましたが余興など協力頂いた旁々にも御礼申し上げます。来年も皆さんに喜んでいただけるような企画を考えたいと思います。いつまでもお元気で活躍し、健康で過ごしてください。皆さんの健康を願っています。

黒谷 箋

私は今年定年を迎える。いろいろなことがあったが周りの人に助けられどうにか迎えられるだろう。

最近気になることがある。それは十年、二十年後のこと。私が後期高齢者になつたとき堀越はどうなっているか、軒数も減り限界集落になつていないかと心配になる。

こんな話があります。今後十年、二十年でアメリカでは四十七パーセントの仕事がコンピュータ化される。つまり仕事が無くなる。つまり仕事が無くなる。率九十九パーセント以上といふ。オックスフォード大学の教授論文。日本も同様だと考えられています。また、若者の年収が二百万前後という人の割合が増加すると統計も出ています。

今十五歳前後の子どもは、このような大変なリスクを抱えなければなりません。その中で若者とともに堀越を作っていくためにはどうしたらいいのでしょうか。ただ考えることは今までの同じ考えや方法では解決策にならないこと。発想の転換をして物事を見直す。すべてを含めて、大変難しい問題であること。私の中では答えは見つかりません。

私が好きな堀越がいつまでも続いてほしい。社会部 三澤 学

知恵を絞って
より良い運営方法を
観光委員長 西元 敏明

地域の存在を全国に発信しているのがまつたけ観光です。インターネットで松茸観光を検索すると真っ先に堀越が出てきます。また、先の地区計画に関するアンケートでも、区民の多くの方が「堀越をPRすること、或いは自慢できること」の

筆頭にまつたけ観光を上げています。私たちの先人が築いた四十三年の歴史ある地域産業は、誰にも誇れるものであり、堀越から欠くことのできない存在ではないでしょうか。

近年まつたけ観光も従事者が不足する等様々な課題に直面しています。そんな中で今年は若者層への呼びかけを行ったところ新たに数名の応募がありました。今後も区内の若者の参加に

期待したいと思っています。近年松茸の発生時期が変動しますので、茸の集荷のタイミングや予約の受入、中止、営業開始の判断が難しくなっています。また、観光の運営も区の委員が中心になって行っていますが、一部の区民に負担が偏るのではなく、運営の委託等皆で知恵を絞ってより良い運営方法を見出し長くつづけられたらと思います。



分館恒例納涼感謝祭

八月六日分館恒例の納涼祭がおこなわれました。この時期毎年雷雨に悩まされますが、今年も同様直前にわか雨でしたが、幸い開始前にはやみ時間どおりの開催となりました。

八月六日午後六時より分館の納涼祭が行われました。直前雨に見舞われましたが、開催前に上がり、定刻に開催できました。

今年も桜松林の皆さんによるよさこいソーラン、神輿会の皆さんによる神輿の行進があり盛り上がりしました。今年はテーブルの位置も変えて皆さんに見て頂ける様工夫もしました。またビンゴゲームも多くの人に景品が行き渡るよう、景品の数も増やしました。

最後は宝投げです。歓喜の声を上げ皆さん夢中になって拾いました。小さな分館ですが、色々と工夫をして事業を実施しています。また、家族づれで参加できるのも小さな地区だから出来る良い点もあります。過ぎゆく夏の一夜が終わりました。



こども神輿の皆さん



子供達の踊りを観戦しながら

分館夏季球技大会

七月二十四日堀越夏季スポーツ大会が開催されました。朝方は曇り空で過ごしやすいたが、競技に入ると強い日差しが照りつけてきました。

競技種目は今年もソフトボール、女子ソフトボール、混合ソフトボールです。ソフトボールと女子ソフトボールが四チーム、混合ソフトボールは五チームが参加しました。どの自治会も参加者の確保が難しくなってきたおり、特にソフトボールは単独でチームを組める自治会が少なくなってきました。高齢者が多いチームもあり、ほとんどボールを

本館 分館対抗球技大会

主催 ソフトボール・ソフトバレーに参加

八月十五日盆恒例の分館対抗球技大会がありました。第五分館もソフトボール、ソフトバレーに参加をしました。ソフトボールは初戦第一分館とあたり四点差で負けていましたが、逆転さよならで、勝ちました。

第二試合は、途中降雨となりジャンケンで順位を決定しました。その結果二位という順位になりました。お盆の暑い中それぞれの立ち場で御苦労様でした。終了後は区民会館で慰労会を行い、世間話に話題が移り一日を終えました。



第七分館と対戦する第五分館

また、ソフトバレーは、女性達の健闘も空しく残念な結果でした。来年に期待。



熱戦を繰り広げるソフトバレー

握ったことのない人もいるので珍プレーも多く出ました。運動は得意な人や若い人中心になりがちですが、幅広く多くの区民が参加できたことは大変良かったのではないかと思います。終了後は各自自治会で慰労会が行われたようです。冷たいビールが美味しかったことでしょう。

マレットゴルフ

優勝 三沢 和子さん

球技大会午後の部はマレットゴルフ大会です。三十名の方が参加し、競技が行われました。上垣外自治会では十一名と多くの参加があり大会を盛り上げて頂きました。三十七名の頂点となり優勝した方は東自治会の三沢和子さんでした。



ソフトボール 久々の優勝

優勝 西部・胡芝混合

毎年大会前に練習を行っている西部ですが、中々結果がついて来ませんでした。が、本年は胡芝の方々の強力な助っ人のおかげで、久々に優勝することが出来ました。



優勝した西部・胡芝混合チーム

平成二十八年 総合防災訓練

九月四日午前六時から総合防災訓練が行われました。この訓練は、大型台風が接近し、土砂災害、河川の増水による堤防決壊の危険が高まっているとの想定のもと、全村で実施されました。堀越も各自治会が主体となって避難参集訓練、情報伝達訓練等が行われました。自治会長は七時半から訓練の内容を区民会館で報告しました。また同時に日赤奉仕団の炊き出し訓練も行われ、早朝から会員の皆さんが区民会館でにぎりを作り、自治会長、区役員、自主防災の班員の皆さんもおにぎりをいただきました。



炊き出しの準備をする日赤の皆さん

堀越の観光と農産物をPR

副区長 西元 敏明

堀越の優良な農産物の販路を拡大するためのPRの事業に取り組んでいます。その一つが、「堀越の観光と農産物」のチラシの作成とHPの充実です。もう一つは、まつたけ観光の客を捉えた直売所の開設です。何れも模索段階ですが、目的達成に向け取組ます。

